

令和4年度

第1回アンケート調査(いじめ・自殺)結果報告

令和4年10月

福島県立郡山支援学校  
いじめ防止対策委員会

## [アンケートの質問内容]

自分(じぶん)のことについて、当(あ)てはまるものすべてに○(まる)をつけてください。	
自殺防止に関わる調査	(1) 気(き)になることや悩(なや)んでいることについて
	1 学校(がっこう)や友達(ともだち)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
	2 家族(かぞく)や家庭(かてい)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
	3 その他(た)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
	4 学校(がっこう)に行(い)きたくないと思(おも)う。
	5 いつも悲(かな)しい、苦(くる)しい気持(きも)ちになる。
	6 気(き)になることや悩(なや)んでいることを相談(そうだん)できる人(ひと)がいない。
いじめ防止に関わる調査	(2) 友達(ともだち)関係(かんけい)について
	1 冷(ひ)やかし、からかい、悪口(わるくち)を言(い)われた。
	2 仲間(なかま)はずれにされたり無視(むし)されたりした。
	3 叩(たた)かれたり、ぶつかられたり、蹴(け)られたりした。
	4 お金(かね)や物(もの)をとられたり、おごらされたりした。
	5 物(もの)を隠(かく)されたり、乱暴(らんぼう)に扱(あつ)われたり、壊(こわ)されたりした。
	6 嫌(いや)なこと、危険(きけん)なこと、恥(はずかしい)ことをさせられた。
	7 メールやSNS(エヌエヌエス)に、嫌(いや)なことを書(か)かれたり画像(がぞう)をのせられたりした。
	8 いじめられている人(ひと)を見(み)たり聞(き)いたりしたことがある。
9 そのほか、友人(ゆうじん)関係(かんけい)のことで困(こま)っている。	

※集計は児童生徒と保護者を合算した形で行っています。

小学部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率
1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			19	22	86%
2年	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			20	22	91%
3年	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			27	28	96%
4年	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			32	34	94%
5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			10	12	83%
6年	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			20	20	100%
計	1	1	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0			128	138	93%

回答の概要	<p>【自殺防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスメイトとのやり取りや身体のことなどが主な要因となっている。</li> </ul> <p>【いじめ防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめとして認知されるものはなかったが、オンラインゲーム上でのやり取りでトラブルが発生している。</li> </ul>
-------	--

中学部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率
1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			17	18	94%
2年	1	3	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			31	32	97%
3年	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0			43	46	93%
計	1	4	2	2	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0			91	96	95%

回答の 概要	【自殺防止に関する調査について】
	・ 校外での出来事、家族との関係、コミュニケーションに関すること、センターでの過ごし方などが主な要因。
回答の 概要	【いじめ防止に関する調査について】
	・ いじめとして認知されるものはなかったが、ゲームのメッセージ機能を利用したトラブルが発生している。

高等部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率
1年	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			44	44	100%
2年	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			27	28	96%
3年	2	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			35	36	97%
計	3	2	4	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			106	108	98%
回答の概要	<p>【自殺防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身のこと、友達との関係、進路活動への不安、寄宿舎での人間関係等が主な要因。</li> </ul> <p>【いじめ防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめとして認知されるものはなかった。</li> </ul>																			

### 《まとめ》

いじめとして認知されるものは無かったが、オンラインゲーム上のやり取りの中で嫌な思いをしたり、校内だけでなく、寄宿舎や療育センター内においても生活する中で、悩みを抱えている児童生徒がいることが把握できた。このようなアンケートを実施することで、教師が気付きにくい学校外の事柄についても把握することができるので、日頃から児童生徒の見守りや信頼関係の構築に努めるとともに、保護者や地域行政とも連携しながら児童生徒が表す変化や危険信号を見逃さず、面談やアンケート調査を通して、生徒が悩みを訴えやすい環境を整え積極的にいじめ、自殺防止に取り組んでいかなければならない。

児童生徒の様々な悩みと向き合っていくために、担任だけでなく各学部、各学年、教務部、進路指導部とも連携を図り、学校全体として該当する児童生徒のバックアップに努める。

第2回のアンケートは1月の冬季休業明けを予定している。